

2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 グリーンランドリゾート株式会社 上場取引所 東 福  
 コード番号 9656 URL https://www.greenland.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松野隆徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理室長 (氏名) 富山裕人 TEL 0968-66-2111  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績 (2026年1月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,351	0.1	36	△57.2	26	△67.9	104	65.3
2025年12月期第1四半期	1,350	3.0	84	△6.2	81	△18.8	62	△4.3

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 143百万円 (82.5%) 2025年12月期第1四半期 78百万円 (△34.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	10.07	—
2025年12月期第1四半期	6.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	20,348	10,583	52.0
2025年12月期	20,104	10,543	52.4

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 10,583百万円 2025年12月期 10,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	5.00	—	10.00	15.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期 (予想)	—	5.00	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	8.5	780	6.1	740	3.3	500	2.6	48.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	10,346,683株	2025年12月期	10,346,683株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	9,260株	2025年12月期	9,260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	10,337,423株	2025年12月期 1 Q	10,337,423株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想ご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、雇用及び所得環境の改善や各種政策の効果、インバウンド需要の増加等を背景に、景気の緩やかな回復基調が続いております。その一方で、国際紛争の長期化や中東情勢の悪化による地政学リスクの高まりによって継続的な物価上昇や、日米金融政策の動向を背景とした為替相場や金融市場の変動等、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下において当社グループでは、最終年度となる「中期経営計画2026（2024年12月期～2026年12月期）」の目標達成に向け、4つの重点施策「各事業の収益力強化」、「経営効率化の推進」、「人的資本経営の推進」、「SDGsを意識したサステナビリティ経営の強化」を着実に進め、持続可能な収益基盤の拡充に努めております。また、ホテルセグメントにおいては、経営資源の効率的な配分と事業ポートフォリオの最適化を目的として、「ホテルサンブラザ」の運営事業を譲渡する契約を2026年3月31日付で締結いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,351,386千円（前年同期比0.1%増）となり、人件費、消耗品費、補修整備費等の増加により営業利益は36,346千円（前年同期比57.2%減）、経常利益は26,059千円（前年同期比67.9%減）となったものの、繰延税金資産の回収可能性を見直したことにより法人税等調整額（益）を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は104,122千円（前年同期比65.3%増）となりました。

項目	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	1,351,386	1,350,445	940	0.1
営業利益	36,346	84,972	△48,625	△57.2
経常利益	26,059	81,221	△55,161	△67.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	104,122	62,985	41,137	65.3

報告セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

## ・遊園地セグメント

九州の遊園地においては、開園60周年記念事業の一環として、多彩なイベントを数多く開催するとともに、最新XRアトラクションの新規導入やアトラクション2機種と園内飲食1店舗をリニューアルオープンし、集客拡大を図りました。また、前年は花火大会の開催もあり利用者数は減少いたしました。アトラクションフリーパスの料金改定等も行い、収益拡大に取り組んだ結果、売上高は増加いたしました。

一方、北海道のスキー場においては、前年から深刻な雪不足の影響により1月に入ってから営業開始となり、2月下旬にはクローズを余儀なくされました。また、リフト料金改定等による収益改善を図ったものの、利用者数及び売上高は減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比9,695千円減収（△1.7%）の564,568千円となりました。

## ・ゴルフセグメント

3ゴルフ場においては、特にグリーンランドリゾートゴルフコースの入場者数が期間を通して低調に推移したものの、前年に実施した料金改定により客単価は増加いたしました。また、メンバーズゴルフコースを含め施設の改修や配膳ロボットの導入など運営の効率化を図ったものの、当セグメントの売上高は前年同期比1,181千円減収（△0.5%）の250,718千円となりました。

## ・ホテルセグメント

九州のホテルにおいては、宿泊単価が増加したものの、宿泊者数及び宴会の婚礼利用者数が前年同期を下回り、売上高は減少いたしました。

一方、北海道のホテルにおいては、宿泊者数及び温泉の日帰り入湯者数が前年同期を上回ったほか、温泉入浴券の販売が好調で、売上高は増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比12,477千円増収（+3.2%）の403,684千円となりました。

## ・不動産セグメント

不動産セグメントにおいては、前年に実施した一部既存テナントの賃貸料改定により、土地賃貸収入が増加した結果、当セグメントの売上高は前年同期比6,860千円増収(+16.8%)の47,714千円となりました。

## ・土木・建設資材セグメント

土木・建設資材セグメントにおいては、バイオマス火力発電所への燃料投入業務が増加したものの、一般土木工事の受注や建設資材のポゾテック製造の受託業務が減少したため、当セグメントの売上高は前年同期比7,519千円減収(△8.2%)の84,700千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産額合計は20,348,108千円(前連結会計年度末比243,304千円増加)となりました。

流動資産は、1,063,519千円(前連結会計年度末比38,827千円増加)となりました。主な要因は、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金等が増加したことによるものであります。

固定資産は、19,284,588千円(前連結会計年度末比204,476千円増加)となりました。主な要因は、建物及び構築物、投資有価証券、繰延税金資産等が増加したことによるものであります。

流動負債は、5,165,617千円(前連結会計年度末比12,850千円増加)となりました。主な要因は、短期借入金、未払法人税等が増加したものの、営業未払金、未払金等が増加したことによるものであります。

固定負債は、4,598,562千円(前連結会計年度末比190,061千円増加)となりました。主な要因は、長期借入金等が増加したことによるものであります。

純資産は、10,583,928千円(前連結会計年度末比40,392千円増加)となりました。主な要因は、配当金の支払いにより利益剰余金が増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び配当予想につきましては、2026年2月13日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想及び配当予想につきましては、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績等は今後の経済情勢の変化や事業運営におけるさまざまな状況変化によって、予想の数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	506,757	414,915
受取手形及び売掛金	311,894	435,782
商品	40,024	40,583
原材料及び貯蔵品	76,511	61,553
その他	91,916	113,102
貸倒引当金	△2,413	△2,417
流動資産合計	1,024,692	1,063,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,132,890	2,196,556
機械装置及び運搬具(純額)	577,535	560,783
土地	14,465,918	14,465,908
建設仮勘定	555,765	556,765
その他(純額)	172,742	179,727
有形固定資産合計	17,904,852	17,959,741
無形固定資産		
その他	201,695	200,113
無形固定資産合計	201,695	200,113
投資その他の資産		
投資有価証券	558,664	616,421
繰延税金資産	136,675	231,917
退職給付に係る資産	220,911	219,934
その他	57,312	56,461
投資その他の資産合計	973,563	1,124,733
固定資産合計	19,080,111	19,284,588
資産合計	20,104,804	20,348,108

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	89,246	101,511
営業未払金	159,138	312,043
短期借入金	4,316,116	4,143,074
未払金	298,843	380,013
未払法人税等	96,828	22,044
賞与引当金	—	37,978
その他	192,593	168,951
流動負債合計	5,152,766	5,165,617
固定負債		
長期借入金	2,151,538	2,356,919
長期預り金	2,135,082	2,117,782
退職給付に係る負債	8,731	9,021
その他	113,149	114,839
固定負債合計	4,408,501	4,598,562
負債合計	9,561,267	9,764,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	1,467,768	1,468,516
自己株式	△3,036	△3,036
株主資本合計	10,412,667	10,413,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	130,868	170,512
その他の包括利益累計額合計	130,868	170,512
純資産合計	10,543,536	10,583,928
負債純資産合計	20,104,804	20,348,108

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,350,445	1,351,386
売上原価	1,104,874	1,146,184
売上総利益	245,571	205,201
販売費及び一般管理費	160,599	168,855
営業利益	84,972	36,346
営業外収益		
受取利息	148	329
受取配当金	2,430	2,340
受取賃貸料	2,417	853
助成金収入	4,000	4,900
雑収入	819	1,763
営業外収益合計	9,814	10,186
営業外費用		
支払利息	13,485	20,460
雑損失	81	13
営業外費用合計	13,566	20,473
経常利益	81,221	26,059
特別利益		
固定資産売却益	3,563	791
特別利益合計	3,563	791
特別損失		
固定資産除売却損	1,910	2,104
事業譲渡損	—	25,000
特別損失合計	1,910	27,104
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	82,874	△253
法人税、住民税及び事業税	30,670	6,159
法人税等調整額	△10,780	△110,535
法人税等合計	19,889	△104,376
四半期純利益	62,985	104,122
親会社株主に帰属する四半期純利益	62,985	104,122

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	62,985	104,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,784	39,644
その他の包括利益合計	15,784	39,644
四半期包括利益	78,769	143,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,769	143,766
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	574,263	251,900	391,207	40,853	92,220	1,350,445	—	1,350,445
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,459	2,768	6,541	2,802	126	14,697	△14,697	—
計	576,723	254,668	397,748	43,655	92,346	1,365,143	△14,697	1,350,445
セグメント利益又は損失(△)	120,767	28,739	△18,295	28,454	24,182	183,848	△98,876	84,972

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△98,404千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	564,568	250,718	403,684	47,714	84,700	1,351,386	—	1,351,386
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,489	2,878	6,427	2,802	30	14,627	△14,627	—
計	567,057	253,597	410,112	50,516	84,730	1,366,013	△14,627	1,351,386
セグメント利益又は損失(△)	94,716	8,514	△15,589	35,200	17,198	140,040	△103,693	36,346

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△105,049千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	78,647千円	83,973千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。